

地域人材ネット

地域密着型地域おこし協力隊の雇用

小山 友誉 (こやま ともたか)

(一社)里山プロジェクト 代表理事、(一社)TOC十日町アウトドア体験センター 代表理事、(株)トロノキファーム 取締役



○ 登録者情報

所在地

新潟県十日町市

略歴

H22 十日町市地域おこし協力隊として活動 農業や除雪などの地域活動と深く関わり、活動期間中の平成23年

東日本大震災翌日の3.12長野県北部地震(最大震度6強)や 同年7月の新潟福島豪雨、また任期中の3年間

全ての冬で災害救助法が適用された豪雪を地域の方々と一体となり全ての災害を乗り越えたことで「本物の生きる力」を学ぶ。

H25 地域おこし協力隊サポート人アドバイザー登録(総務省全国研修、新潟県研修で講師として参加)

H24 無農薬無化学肥料栽培の田んぼを3反歩(30a)始める。

H25 協力隊時代に議論をしていた中間支援組織をNPO法人地域おこし傘下に協力隊時代の仲間と共に設立し、

協力隊サポート業務開始。

H25 レインボー健骨体操インストラクター資格取得(高齢者体操サロン開催)

高齢者サロンへ講師として出張サービスを実施中・

H26 RAJリバーガイド資格取得(ラフティングガイド)

信濃川で実施される越後田舎体験事業を中心にガイドとして活動する。

H27 地域の任意団体である松代やぶごぎの会継承し代表を務める。

「森を守り、水を守ることで繋がる棚田と里山の暮らし」をモットーに移動式製材機を使った不要な杉の伐採から商品化を中心に活動中。

H28 (一社)TOC十日町アウトドア体験センター設立、代表を務める。

体験、民泊コーディネート事業開始し、住んでいる人の信用でしかできない撮影のためのローカルロケーションコーディネートを提供、マウンテンバイク選手と関係者へ実施、R1里山体験のワンストップ窓口を兼ねた、アウトドア、プロスポーツショップMontagnaをオープンし豪雪地のスノーアスリートを支援している。

H29 (一社)里山プロジェクトをNPO法人傘下で5年間連れ添った仲間と共に設立

これまでの業務を事業として継続しながら民営化し代表を務める。

H30 総務省地域力創造アドバイザーに十日町市と新潟県に推薦される。

R2 株式会社トロノキファーム取締役就任

里山と棚田の一本桜で有名な儀明の棚田を管理

著書・論文等

〇 地域密着型地域おこし協力隊の雇用

取組の内容

私が活動する中山間地域では、耕作放棄地や高齢化など今の日本の田舎が抱える問題の代表的なものが全てあります。

それらのひとつひとつは、地域や小さな集落の仕組みや、そこで生活する人々を深く知ることで、解決の糸口が見えてきます。そのミクロの部分をしっかりと捉えることで大きな問題の核心を理解できるわけですが、「耕作放棄地をなくそう」というような比較的大きな部分に対しての上辺の対策のみが言葉として存在するだけで、本物の政策をなかなかうまく作ることができなかつたり、あってもうまく機能できていない現状だったりしています。

私は、そのミクロの部分に自分たちが現場作業員として入ることで、小さな問題を解決することができることに気が付きました。そして、小さな問題、課題をひとつひとつ丁寧に解決することで、直ぐには解決できない大きな問題の解決への歩みであることの手応えを感じております。

地域密着型の協力隊を雇用し、地域へ「しっかりと入る」形を作ることで、それが地域の方々の信頼を得ることができ、その信頼を背負った協力隊が、自然環境とバランスの取れた地域の産業や農業に地域の核となって貢献し、それらが、ゆくゆくは地域のこどもたちや、明るい未来へと繋がって行くことを確信し、実行しております。



市内協力隊へのステップアップ研修(農家民宿を実現したOG宅で開催)



新潟県協力隊研修風景

実績

令和元年度までは地域密着型地域おこし協力隊の十日町市のアドバイザー業務と、新潟県や全国研修の講師という関わりだったが、令和2年度から実績を評価され、十日町市の地域密着型協力隊を全員雇用することとなった。

雇用と同時に、募集業務やお試し協力隊の業務も委託され、前年度応募者がなかった協力隊の応募者を8名まで増やし、お試し協力隊や移住希望者を20名募集から集落内合意形成、実施まで行った。

工夫した点や苦労した点

受入れ地域の世話人さんの意識の底上げと制度の再認識（行政に頼めばいつか入って来る協力隊ではなく、自分たちもやる気を出さないのもう誰も来ない時代になった）

ひとことPR

地域密着型の協力隊をしっかりと地域に入れることができれば、3年後の多方面への波及効果は必至です。。

どのような人材を獲得し、どのように関われば、地域と協力隊が上手く二人三脚できるのか？過去の協力隊の受け入れ実績と定住実績の経験からほとんどの答えを持っています。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	<input type="radio"/> DMOとの連携
地区防災計画	<input type="radio"/> インバウンド対応
BCP	<input type="radio"/> 民泊・農泊
避難所運営	<input type="radio"/> 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
<input type="radio"/> 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
<input type="radio"/> 地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
<input type="radio"/> 地域と関係人口の協働	<input type="radio"/> 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	<input type="radio"/> 人材研修
働き方改革	<input type="radio"/> ふるさと教育
子どもの貧困対策	<input type="radio"/> 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域プランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

里山プロジェクト	https://www.satoyamaji-tokamachi.com/

連絡先

メールアドレス	satoyama.project6 [アットマーク] gmail.com		
---------	--------------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。